

宮城県登米総合産業高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす									
各教科指導目標	国語	◎	○	○	◎	地理歴史	◎	○	○	◎	公民	◎	○	○	◎	数学	◎	○	○	◎	理科	◎	○	○	◎	
	言語文化に対する理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、読解力や語彙力、表現力など基礎的な言語能力を身に付けさせ、総合的な国語の能力を向上させる態度を養う。		日本の歴史及び世界各国の歴史の学習を通して、現代社会の形成過程を学び、異文化理解を深め、多様な価値観を受け入れて社会に積極的に貢献するような資質を養う。		過去・現在・未来の時間軸を意識しながら複雑な現代社会の仕組みを学び、グローバル化が進む社会の中で他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。		数学的な活動を通じ、物事を論理的に考察し表現する姿勢を養うとともに、生活のさまざまな事象を筋道立てて判断し、処理する問題解決能力を育成する。		科学的基礎知識を身に付け、科学が我々を取り巻く環境や生活、社会とどのような関わりがあるか理解し、生涯にわたり継続的に科学に関心を持ち、生活に役立てる態度を養う。																	
	保健体育	◎	○	○	◎	芸術	◎	○	○	◎	英語	◎	○	○	◎	家庭	◎	○	○	◎	農業	◎	○	○	◎	
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたり健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。		芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。また、豊かな人間性を育むとともに、創造性や実践的な能力を養う。		英語を通じて異文化への関心と理解を深め、身近な日常生活の場面で相手の意向などを聞き取り、自分の考えを英語で伝えようとする態度を養う。		生きていく上で生活に必要な知識と技術を習得させ、社会と家庭との関わりの理解を深め、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。		農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。																	
機械	◎	○	○	◎	電気	◎	○	○	◎	情報技術	◎	○	○	◎	商業	◎	○	○	◎	福祉	◎	○	○	◎		
機械に関する基礎的な知識・技能を習得するとともに、現代社会における工業の役割を理解し、そこに参画する態度を育てる。		電気に関する基礎的な知識・技能を習得するとともに、ものづくりの意義や達成感を体験し、産業人としての自覚を芽生えさせる。		情報技術に関する基礎的な知識・技能を習得するとともに、情報技術の役割を理解し、社会に貢献できる能力と態度を育てる。		商業の基礎的・基本的な知識と技術を習得し、ビジネスの意義や役割について理解させる。ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。		福祉の知識と技術を習得させるとともに、福祉の意義と役割を理解させ、地域福祉に貢献できる能力と態度を育てる。																		
学年共通						各学年指導目標																				
指導内容	①あいさつの励行	◎	○	○	1年	「高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を身に付けさせる」 (1)常に進路を意識し、根気強く学習に取り組む習慣を身に付けさせる。 (2)学校と社会のルールやマナーを守り、人に迷惑をかけない言動ができるようにする。																				
	②朝読書の実施	◎	○	○		2年	「中堅学年としての自覚と責任を持ち、充実した学校生活を送るようにする」 (1)中堅学年にふさわしい言動がとれるように指導する。 (2)集中して授業に取り組み、積極的に学習する態度を身に付けさせる。 (3)学校行事等に積極的に参加する態度を育成する。 (4)進路に対する目標を早期に持たせ、目標実現を目指して努力させる。 (5)時間の厳守を徹底させる。																			
	③身だしなみを整える	◎	○	○	3年		「最高学年としての自覚を持たせ、進路目標達成に努力させるとともに社会人として必要な常識とマナー、基本的な生活習慣を身に付けさせる」 (1)社会人として必要な生活態度を身に付けさせるとともに、自立心・自律心を養わせる。 (2)進路を意識し授業に集中し、積極的に学習する態度を身に付けさせる。 (3)具体的な進路目標を掲げ、早期達成を目指して努力させる。																			
	④資格取得を目指す	◎	○	○			3年																			
	⑤遅刻の撲滅	◎	○	○	3年																					
	⑥放課後学習の実施	◎	○	○		3年																				
指導内容							ねらい			指導教科等			実施時期			時数			かわかる			もどめる			はたす	
共通	生徒総会	集団の一員として、よりよい学校づくりに参画する。				学校行事	5月	1	◎	○	○															
	スポーツ大会	集団行動の体得、責任感や連帯感の涵養を図る。				学校行事	7月	12	◎	○	○															
	文化祭	集団行動の体得、責任感や連帯感の涵養を図る。				学校行事	10月	12	◎	○	○															
	学習成果発表会	学校全体の一員として、他学科や他学年の発表を聞き、よりよい学校づくりに参画する。				学校行事	2月	3	◎	○	○															
	朝読書・放課後ゼミ・公務員試験対策講座・進路対策講座	自ら積極的に参加し、学習の深化や進路実現の一助とする				その他	通年	通年	◎	○	○															
	夏期講習・冬期講習	自ら積極的に参加し、学習の深化や進路実現の一助とする				その他	7・12月	18	◎	○	○															
1年	新入生オリエンテーション	これからの学校生活の過ごし方や心掛けについて学ぶ。				学校行事	4月	1	◎	○	○															
	基礎学力診断テスト・進路適性検査「スタート」	自己理解を深め、進路実現の一助とする。				学校行事	4・8・1月	13	◎	○	○															
	産業基礎	就業することの意義や社会人として必要とされる資質などを学ぶ。				学校設定科目	通年	2単位	◎	○	○															
	進路講話・進路ガイダンス・合格体験発表会	講話・ガイダンスを通して進路意識の向上を図り、適切な進路選択の一助とする。				学年行事	通年	8	◎	○	○															
2年	基礎学力診断テスト・進路適性検査「スタートプラス」・SPI入門	自己理解を深め、進路実現の一助とする。				学校行事	4・8・9・1月	14	◎	○	○															
	インターンシップ	将来の進路に繋がる就業体験を通して、進路理解と学習の深化の一助とする。社会の一員であることや人との関わりについて学ぶ。				学年行事	10・11月	18	◎	○	○															
	起業実践	他学科の授業を受講し、進路の視野を広げる。起業家的資質・能力を身に付ける。				学校設定科目	通年	2単位	◎	○	○															
	進路講話・進路ガイダンス・合格体験発表会	講話・ガイダンスを通して進路意識の向上を図り、適切な進路選択の一助とする。				学年行事	通年	7	◎	○	○															
3年	基礎学力診断テスト・SPI基礎・SPI実践	自己理解を深め、進路実現の一助とする。				学年行事	4・8月	2	◎	○	○															
	進学講話・進路ガイダンス	講話・ガイダンスを通して進路意識の向上を図り、適切な進路選択の一助とする。				学年行事	4・5月	4	◎	○	○															
	模擬面接事前指導及び模擬面接	進路達成に向けて、面接試験における身だしなみ、態度、返答、言葉遣いを確立する。				学校行事	7月	2	◎	○	○															
	起業実践	起業家的資質・能力を身に付け、社会で通用する適応力や実行力を身に付けさせる。				学校設定科目	通年	2単位	◎	○	○															
	入学・就職準備講座	入社後や入学後の生活や過ごし方を学ぶ。また、社会人としての心得を身に付ける。				学年行事	1月	1	◎	○	○															